

令和6年度 流域下水道事業会計 決算概要①

資料2

■ 決算のポイント

- ✓ 純損失**24億 305万円**、前年度比約8.4億円悪化
- ✓ 施設運転管理等の委託先民間企業の人件費の増加などにより、**維持管理経費**が前年度比約14.8億円増
- ✓ 処理水量は前年度比**2,994万立方メートル**、**4.7%増**
- ✓ 関係市町の**維持管理負担金**は前年度比約13.9億円増

損益の状況（消費税及び地方消費税を除く）

■ 収益	491億4,383万円	（対前年度比 +8億9,008万円）
■ 費用	515億4,688万円	（対前年度比 +17億3,421万円）
■ 純損失	24億 305万円	（対前年度比 ▲8億4,413万円）

- ✓ 収益の主なもの：維持管理負担金、一般会計繰入金等
- ✓ 費用の主なもの：污水处理や維持管理の経費、減価償却費等

資本的収支の状況（消費税及び地方消費税を含む）

■ 収入	191億3,659万円	（対前年度比 ▲23億5,980万円）
■ 支出	245億9,771万円	（対前年度比 ▲23億6,750万円）
■ 収支差	▲54億6,112万円	（対前年度比 +770万円）

- ✓ 収入の主なもの：国庫補助金、建設負担金、企業債等
 - ✓ 支出の主なもの：施設の建設改良の経費、企業債の元金償還（57億円）
- ※ 収支差のマイナスは損益勘定留保資金等で補填

■ 業績ハイライト（ ）は前年度実績

業務量 **6億7,262万立方メートル**※
（6億4,268万立方メートル）

※1日平均：50mプールで約737杯分に相当

- ・ 約565万人の家庭排水（BOD:120～250mg/L）等を良好な水質にして河川へ放流（BOD:3.0mg/Lで放流）

維持管理（税抜。減価償却費等を除く。）

污水处理等経費：約269億円 **財源** 市町負担金236億円
（約254億円）

- ・ 委託先民間企業等の**人件費** 72.6億円（前年度比+8.2億円）
- ・ 老朽化が著しい施設の**修繕費** 75.1億円（前年度比+3.7億円）

設備投資（税込。翌年度繰越を除く。）

建設改良費：約189億円 **財源** 国庫補助金 83億円
市町負担金 48億円
県企業債 58億円
（約213億円）

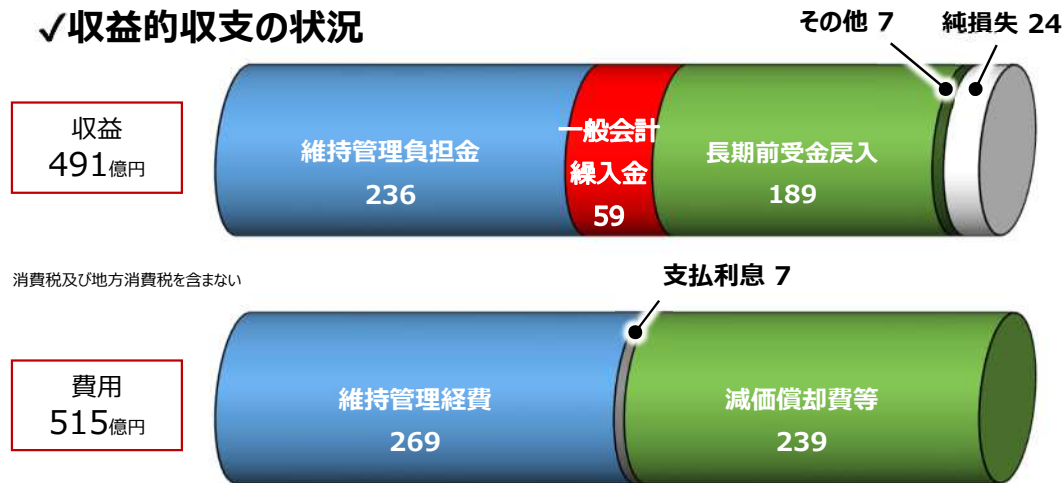
- ・ 老朽化した機械電気設備の**改築**等に約92億円
- ・ 耐震基準に適合しない施設の**耐震化**等に約50億円
- ・ 再生可能エネルギーの活用促進による**温暖化対策**等に約12億円

令和6年度 流域下水道事業会計 決算概要②

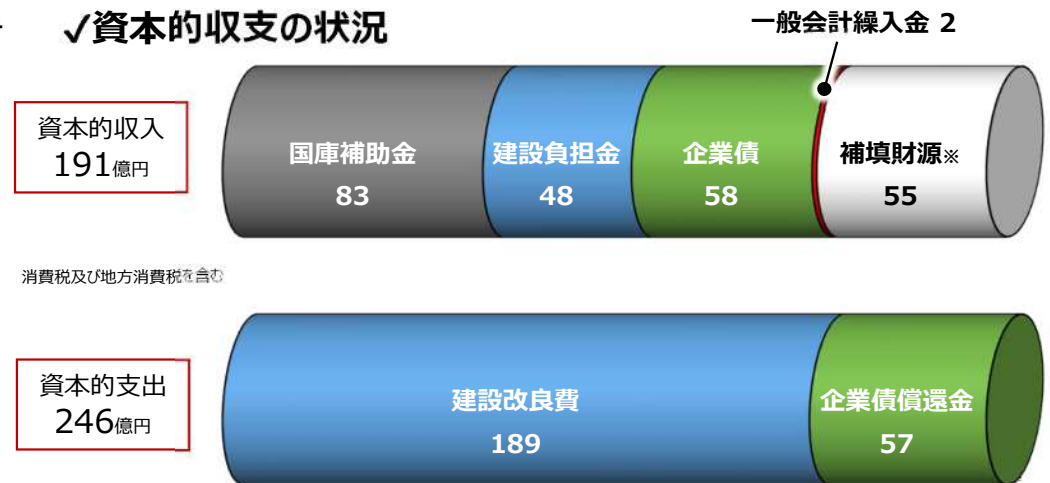
資料2

■ 財務ハイライト

✓収益的収支の状況



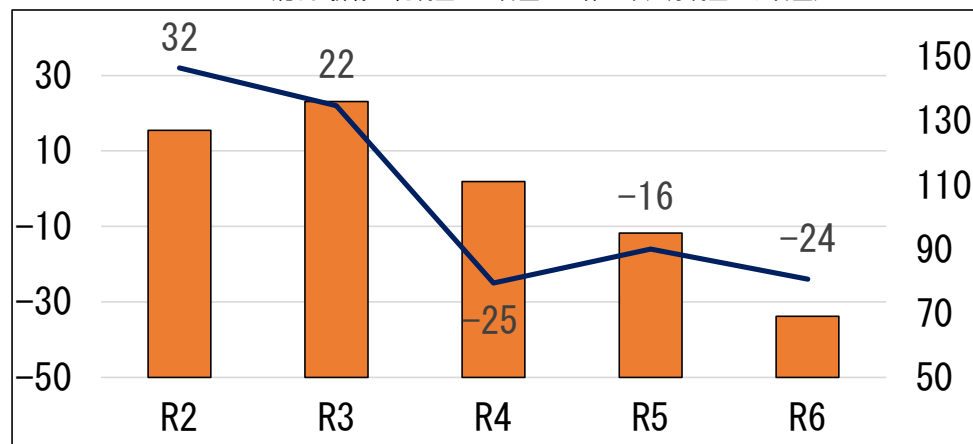
✓資本的収支の状況



※ 資本的収入が不足する分は損益勘定留保資金等で補填

✓損益の推移

(億円 折線：純利益・左目盛 棒：未処分利益・右目盛)



✓企業債残高の推移

(億円)

